



Summer Festivals & Fireworks : 授業アイデア (簡単版)

花火大会と夏祭りをテーマにした英語の授業アイデア 2本 Class _____ No. _____ Name _____

1. 屋台で英会話 : Can I have shaved ice?

小学校・20分

🎆 夏祭りの屋台を教室につくり、Can I have ~? / Here you are. を使って買い物のやりとりをする。

- かき氷・たこ焼き・りんご飴・金魚すくいの絵カードで、英語の言い方を練習する (shaved ice, octopus balls, candy apple, goldfish scooping)。
- 半分が店員、半分がお客さんになり、紙のお金で買い物をする。
- 役を交代し、最後に What did you buy? と聞き合って発表する。

2. 世界の花火カレンダーをつくろう

中学・25分

🎆 国ごとに花火を上げる日と理由を英語で調べ、日本の「夏の花火」と比べて説明する。

- アメリカ (July 4)、イギリス (November 5)、フランス (July 14)、オーストラリア (December 31) の例を示す。
- グループで1か国を選び、In ____, people watch fireworks on ____ because ____ の文を作る。
- 黒板の大きなカレンダーに国旗カードを貼り、日本の7月・8月がどれだけ多いか確かめる。
- Why are fireworks a summer thing in Japan? をクラスで話し合う。



1. 屋台で英会話：Can I have shaved ice?

授業手順書（詳細版）／対象：小学校／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

夏祭りの屋台を教室につくり、Can I have ~? / Here you are. を使って買い物のやりとりをする。

準備

- 屋台の絵カード4枚（かき氷 shaved ice / たこ焼き octopus balls / りんご飴 candy apple / 金魚すくい goldfish scooping）。基本セット p.3 のマッチングの絵を拡大してもよい
- 紙のお金（1人に数枚）
- 店の看板にする画用紙（店員役の机に置く）
- 提灯や太鼓の写真があれば雰囲気づくりに

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	提灯や花火の写真を見せて「夏祭りに行ったことある？」と聞く。屋台で何を買ったか、何をしたかを日本語で自由に言わせる。	夏祭りの思い出を話す。	“Look! It's a summer festival.” “Do you like summer festivals?” “What do you buy at a festival?”
展開1	5	4枚の絵カードで英語の言い方を練習する。そのあと、先生が店員になって Can I have shaved ice? / Here you are. / Thank you. のやりとりを児童全員と練習する。	屋台の食べ物や遊びの英語をまねて言い、買い物の言い方を練習する。	“Shaved ice. Octopus balls. Candy apple. Goldfish scooping. Repeat.” “I'm the shop clerk. Ask me. Can I have shaved ice?” “Here you are.” “Say thank you!”
展開2	8	クラスを半分に分け、半分が店員、半分がお客さんになる。お客さんは紙のお金を持って屋台を回り、Can I have ~? で買い物をする。4分たったら役を交代する。	店員とお客さんになって、英語で買い物をする。途中で役を交代する。	“This half is shop clerks. That half is customers.” “Customers, go shopping. Say, Can I have ...?” “Clerks, say, Here you are.” “Time to change roles!”
まとめ	4	席にもどり、What did you buy? と聞き合う。何人かに I bought shaved ice. のように発表させる。花火大会で「たまや～」と叫ぶことも紹介し、最後にみんなで言ってみる。	買ったものを友だちと聞き合い、何人かが発表する。	“What did you buy?” “I bought shaved ice and a candy apple.” “At fireworks, people shout, Tamaya! Let's say it together.”

板書例

Summer Festival

- shaved ice（かき氷）
- octopus balls（たこ焼き）
- candy apple（りんご飴）
- goldfish scooping（金魚すくい）

お客さん：Can I have _____?

店員：Here you are.

お客さん：Thank you!

What did you buy? → I bought _____.

評価のポイント

- Can I have ~? を使って、ほしいものを伝えられたか。
- 店員役で Here you are. と言って渡せたか。
- What did you buy? に答えられたか。

つまずきへの手だて

- 言葉が出ない子には、絵カードを指さしながら Can I have ... まで先生が言い、単語だけ言わせる。
- 恥ずかしがる子には、まず先生とペアで1回練習してから屋台に行かせる。
- I bought が難しい子には、Shaved ice! と単語だけで答えてよいと伝える。

発展

- 基本セット p.3 のマッチングで、fireworks / yukata / lantern などの絵と単語を結び。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで、夏祭りの単語をなぞる。
- 基本セット p.6 の迷路（Help Riku find a good spot for the fireworks!）に取り組む。

使う教材

- 基本セット p.3（マッチング）
- 基本セット p.6（迷路）
- 基本セット p.8（なぞり書き）
- 屋台の絵カード、紙のお金



2. 世界の花火カレンダーをつくろう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／25分

Class _____ No. _____ Name _____

🌀 ねらい

国ごとに花火を上げる日と理由を英語で調べ、日本の「夏の花火」と比べて説明する。

📦 準備

- アクティビティ集 B5（国比べ）を1人1枚
- 国旗カード（アメリカ・イギリス・フランス・オーストラリア・日本）
- 黒板に貼る大きな1年カレンダー（12か月の枠だけでよい）
- 基本セット p.1（読解）
- このサイトの英語ページの会話（サラが July 4 の花火の話をする部分）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	4	英語ページの会話を聞かせ、アメリカから来たサラが In America, we watch fireworks on July 4. と言っている部分に注目させる。「日本ではいつ花火を見る？」と聞き、夏が多いことを確認する。	会話を聞き、アメリカと日本で花火を見る時期を比べる。	“Listen to Sarah and Riku.” “When do Americans watch fireworks? On July 4.” “When do we watch fireworks in Japan?” “Yes, all summer.”
展開1	5	4か国の例を示す。アメリカは7月4日の独立記念日、イギリスは11月5日のガイ・フォークス・ナイト、フランスは7月14日の革命記念日、オーストラリアは12月31日の年越し（南半球なので真夏）。それぞれの理由を短く説明する。	4か国の花火の日と理由を聞き、B5 にメモする。	“In the U.S., it's July 4, the birthday of the country.” “In the UK, it's November 5. It's a cold night with bonfires.” “In France, it's July 14. Fireworks light up the Eiffel Tower.” “In Australia, it's December 31. But it's summer there!”
展開2	7	グループで1か国を選ばせ、In ____, people watch fireworks on ____ because ____ の文を作らせる。B5 の表に書き、日本とのちがいをベン図にまとめさせる。	グループで1か国を選び、花火の日と理由を英文にする。日本と比べてベン図に書く。	“Choose one country with your group.” “Make a sentence. In ____, people watch fireworks on ... because ____.” “Then compare it with Japan. Use the Venn diagram.”
展開3	5	各グループが文を発表し、黒板の大きなカレンダーに国旗カードを貼る。最後に日本の7月・8月に花火大会の国旗カードをたくさん貼り、日本だけ夏に集中していることを目で確かめさせる。	文を発表し、カレンダーに国旗カードを貼る。	“Read your sentence and put your flag on the calendar.” “Now look at Japan. July and August!” “Japan has many fireworks festivals in summer.”
まとめ	4	Why are fireworks a summer thing in Japan? をクラスで話し合う。江戸時代、川で夕涼みを楽しむシーズンの初日「川開き」を花火で盛り上げたことを紹介し、その楽しみ方が今に受けつがれていることを伝える。	日本の花火が夏に多い理由を考えて話し合う。	“Why are fireworks a summer thing in Japan?” “Any ideas?” “In the Edo period, people enjoyed the cool river on summer nights.”

📌 板書例

🌸 Fireworks Around the World

us the U.S. July 4 → the birthday of the country
 GB the UK November 5 → Guy Fawkes Night (たき火)
 FR France July 14 → around the Eiffel Tower
 AU Australia December 31 → New Year's Eve (真夏！)
 JP Japan July & August → summer festivals (川開き)

In ____, people watch fireworks on ____ because ____.

Why are fireworks a summer thing in Japan?

✅ 評価のポイント

- 選んだ国について、花火の日と理由を英文で書けたか。
- ベン図で、日本と選んだ国の同じ点・ちがう点を整理できたか。
- 日本の花火が夏に多い理由を、自分の言葉で考えられたか。

👉 つまづきへの手だて

- 日付の英語が言えない生徒には、July 4 = July fourth のように読み方を板書する。
- because のあとが書けない生徒には、B5 の各国の英文をそのまま写してよいと伝える。
- ベン図が難しい生徒には、Both の欄に fireworks と書くところから始めさせる。

🌟 発展

- 基本セット p.1 の英文を読み、「たまや〜」のかけ声が残った理由を確かめる。
- 英語ページの討論の問い（なぜ言葉は長く残るのか）について意見を書く。
- 基本セット p.4 のクロスワードに取り組む。

📖 使う教材

- アクティビティ集 B5（国比べ）
- 基本セット p.1（読解）
- 基本セット p.4（クロスワード）
- このサイトの英語ページの会話と音声